

2013 年度第 2 回オープン グループ セッション「ITC 国際標準の動向とその意義」 開催のご案内

システム監査学会では、学会員および JIPDEC フォーラム会員の皆様を対象としたセッションを年に数回開催しております。

今年度はオープン・グループ・ジャパン様および一般社団法人ディベンダビリティ技術推進協会様にご協力いただき、「国際標準の動向と O-DA 標準とその意義」をテーマとする「オープン グループ セッション」を 2 回にわけて開催いたします。

つきましては、第 2 回セッションを下記のとおり開催いたしますので、参加ご希望の方はシステム監査学会事務局宛、Web からお申し込みください。なお、申込み後にキャンセルされる場合は学会事務局までご連絡をお願いいたします。

記

<第 2 回セッション 開催要領>

1. 日時： 2014 年 3 月 5 日（水） 14:00～16:00（開場 13:30）
2. 会場： 六本木ファーストビル 1 階 JIPDEC 第 1-3 会議室（東京都港区六本木 1-9-9）
会場までのアクセス <http://www.jipdec.or.jp/ov/office.html> （一番下に地図が掲載されています）

3. テーマ：「O-DA（オープン・グループ ディベンダビリティ構築・検証標準）と DEOS 活動とシステム監査」
4. 講師：一般社団法人ディベンダビリティ技術推進協会 理事長（JST プロジェクト：DEOS 研究総括） 所 真理雄 博士
5. 講演要旨： 国内ですでに DEOS 開発に参加され、また、今後、ディベンダビリティ技術推進協会に参画される企業および、国際的に活躍される高信頼性機器である航空・列車・電力など製造販売の重工業・自動車・薬品・エネルギー関連企業の方々が、世界の標準創りと世界でのユースケース評価などの活動に、オープン・グループ リアルタイムエンベデッドシステム（RTES）フォーラム部会の企業メンバーとして参画していただき、一緒に、O-DA（DEOS）の D-Case の実践プログラムに参画していただき、その Learned points をフィードバックしていただき、2015 年までに、O-DA 標準を現在の Version 1.0 から Version 3.0 までアップする活動を、オープン・グループ RTES フォーラムメンバーである米国国防省、関係コンサル会社、ボーイング、レーシオン、エアバス、ロッキードマーチンらと共同でヴァージョンアップ活動に参加していただくこととなります。

今、この、O-DA 標準推進の国際活動は、アベノミクスで世界に売り出す、インフラ型産業プロジェクトへの人脈創りやマーケット工作部隊的な役割も出てくることと期待しています。

また、次世代の世界に通用するエンタープライズ アーキテクトの養成、オープン・グループの RTES フォーラムで O-DA 標準活動、または、FACE Project、OTTPS プロジェクトに参加し標準活動に携わることは、外国のトップ大学院博士課程に留学するレベル以上に人脈創り、理論の深堀、ビジネス上の意義などの理解がえられるのが、われわれの期待するところです。

第 2 回セッションでは、オープン・グループのオープン標準に対して初めて日本科学技術プロジェクト（DEOS）の総括官をされ、現、一般社団法人ディベンダビリティ技術推進協会 理事長の所 真理雄 博士（SONY-SCL 研究所共同創業者）を招き、オープン・グループで作上げた「O-DA 標準」について、その考え方や使い方について詳しくご紹介いただきます。

5. 定員：システム監査学会、JIPDEC 各 35 名（計 70 名）
6. 参加対象：本セッションへの参加は、学会員（正／賛助会員／学生会員）および JIPDEC フォーラム会員に限定させていただきますので、申し訳ありませんが、会員外の方の参加はご遠慮ください。
7. 参加費：無料
8. 申込先：以下の URL からお申し込みください。（JIPDEC フォーラム会員の方もシステム監査学会のサイトからのお申し込みとなります）
http://www.sysaudit.gr.jp/kenkyukai/session_2.html
※申込の際に自動返信された「参加証」を当日、印刷してお持ちください。
9. 事務局連絡先：システム監査学会 106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 JIPDEC 内
Mail: event@sysaudit.gr.jp / TEL : 03-5860-7556